

令和6年度 事務事業評価シート

1 基礎情報

事業名 (子事業名)	道路整備事務経費										所属部等	都市インフラ整備部	事業番号	248
予算区分	経常経費事業										所属課等	道路整備課		
予算科目	会計	01	款	40	項	10	目	05	親事業	900	子事業	05	所属係等	道路整備係

2 計画 (Plan)

総合計画体系		基本政策		自動表示		事業区分	令和6年度予算現額の内訳		
		基本施策		自動表示			項目（節）	金額（千円）	
		単位施策		自動表示					
事業の期間		☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 （開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度 （ ～ 年度）				☐ 国の制度による義務的事業			
事業概要		道路の改良、整備を円滑に行うための関係機関協議等出張旅費、需要費等の執行及び職員の技術向上のための研修参加等。				☐ 県の制度による義務的事業		旅費	100
						☐ 市の制度による義務的事業		需用費	368
						☐ 施設等維持管理事業		役務費	15
						☐ 補助金等交付事業		使用料及び賃借料	766
						☐ 協議会等の負担金		公有財産購入費	418
						☒ その他の事業		負担金、補助及び交付金	10
						根拠法令等			
								合計	1677
目的	対象 （誰を・何を）	市民及び道路利用者		意図 （どうしたいか）		市民が安心・安全で快適な日常生活が営めるよう、狭あいな生活道路の整備を計画的に進めるとともに、地域間の主要交通及び幹線路線等の主要市道のネットワークを補完する路線の拡幅整備を進める。			
手段 （どうやって）		地元自治会からの要望に優先順位をつけ、また、狭あい道路の整備における政策的な必要性を検討し、事業化を進める。地域の実情を考慮し、費用対効果に配慮した整備手法を検討する。事業が円滑に施行できるよう説明会を実施し、関係者の協力を得て、境界確定後に実施設計、用地買収を経て工事を実施する。							

現状把握・実施 (Do) へ

3 現状把握・実施 (Do)

(1) 事業費・指標の推移					単位	令和4年度 (決算実績)	令和5年度 (決算見込)	令和6年度 (予算現額)	令和7年度 (予算見込)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	1,305	1,285	1,677	1,500	
	事業費計 (A)			千円	1,305	1,285	1,677	1,500	
	人件費	正規職員	業務に必要な人工	人	0.2	0.2	0.2	0.2	
			延べ業務時間 (年)	時間	9,072	9,072	5,184	5,184	
			平均人件費 (年)	千円	15,120	15,120	8,640	8,640	
		人件費計 (B)			千円	3,024	3,024	1,728	1,728
(A) + (B)			千円	4,329	4,309	3,405	3,228		
対象数の推移	方向	→	厚木市民 (R51001現在)		人	223,711	224,095	224,060	224,060
活動指標 (経常・その他)	方向	→	要望対応件数	目標	件	10	5	5	5
				実績	12	1			
成果指標 (総合計画)	方向	→		目標 実績					

(2) この事務事業の背景・市民意見等

①	・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間事業者、議会等)からどのような意見や要望が寄せられているか?	平成3年度から令和5年度末までに1089件の要望が寄せられている。
②	・直近3か年以内に実施した改善や見直し等の内容は?(監査等からの指摘事項を含む。)	特になし
③	・事業の対象者への周知方法は? (複数回答可)	☐ 広報あつぎ ☐ 市ホームページ ☐ 公民館だより ☐ ポスター・チラシ ☐ SNS ☒ その他 (通知・回覧)
④	・他市の状況は?(県内や類似団体との比較)	比較していない

4 評価 (Check)

必要性	① 社会的な要請 ・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか？	○ 必要性は薄れている (A) ● 必要性がある (B)	妥当	理由	
	② 対象者のニーズ ・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか？	○ 減少する見込み (A) ● 横ばい・増加する見込み (B)	妥当	理由	
	③ 行政関与の必要性 ・この事業は、行政が実施する必要があるか？民間やNPOなどでも実施可能か？	○ 可能である (A) ● 可能ではない (B)	妥当	理由	
	④ 廃止した場合の影響 ・この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか？	○ 影響がない (A) ● 影響がある (B)	妥当	内容	
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方 ・指標の目標値は達成できたか？達成できなかった場合、その理由は何か？ ・指標や目標値の設定根拠は？ (エビデンスに基づく合理的な根拠)	○ 未達成 (A) ● 達成 (B) 達成率 R5活動指標 20.0 % R5成果指標 %	妥当	理由 指標の根拠	
	⑥ 目的への貢献 (具体的な成果) ・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献できなかった場合、その理由は何か？ ・具体的な成果の内容は？	○ 貢献できなかった (A) ● 貢献できた (B)	妥当	理由 成果	
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携はできるか？	○ 可能性がある (A) ● 可能性がない (B)	妥当	理由	
効率性	⑧ 費用対効果の向上 ・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2等により、事業費の削減・費用対効果の向上は可能か？	○ 余地がある (A) ● 余地がない (B)	妥当	理由	
	⑨ 業務効率化 (業務時間・業務量の改善) ・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か？	○ 余地がある (A) ● 余地がない (B)	妥当	理由	
公平性	⑩ 受益者負担の適正化 ・受益者負担は公平・公正になっているか？	○ なっていない (A) ● なっている・受益者負担には該当しない (B)	妥当	理由	
	⑪ 制度の周知 ・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか？	○ できていない (A) ● できている・周知の必要がない (B)	妥当	理由	

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠 (エビデンス) に基づくものとする

※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式

SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

5 改善 (Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分

一次評価	事業の適合率		評価の判定基準 ▶▶▶	所管課長評価	見直し区分	手法の適正率		見直し判定	見直し区分 (複数選択可)				
	必要性	妥当				100 %	効率性		妥当	100 %	現行どおり	□ コスト見直し	□ PFS・SIB導入
	有効性	妥当											

(2) 担当課による今後の取組

事業推進上の課題	具体的な改善案	備考
多くの要望に対して、限られた予算で最大の効果を上げること。	工事図面の標準化、CAD技術の取得、関係課との連携した工事発注による経費の削減、工期の短縮など。	

6 総評 (Follow)

2次評価	所管部長評価	具体的な指示事項
一次評価結果を踏まえた横断的な視点での評価	継続	あつぎの道づくり計画に基づき、計画的な整備推進に努めていただきたい。